

会 議 録

会議名	平成22年度 第2回 丸亀市総合計画審議会
開催日時	平成23年1月25日(火) 午前10:00~午後0:10
開催場所	丸亀市役所 本館2階第3会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">内田 俊英 小野 健一 片山 圭之 板倉 真 金 永子 田中 豊 岩崎 晶典 岩田 理香 奥村 素一 篠塚 智枝子 橘 節哉 藤田 登茂子 臼杵 實 北風 智恵実 林 毅 早馬 倫代 大倉 祐樹 佐野 一樹</p> <p>(欠席委員)</p> <p style="text-align: center;">砂古 敏之 宮本 喜美代</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">企画財政部長 大林 諭 企画課長 矢野 律 財政課長 大野 順平 企画課副課長 小山 隆史 企画課主査 村山 智彦</p>
議 題	<p>1. アンケートの追加検証結果について</p> <p>2. 行政評価結果と政策体系について</p> <p>3. その他</p>
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
議事の進行及び発言の要旨	<p>・企画課長（議事までの進行）</p> <p>おはようございます。ご案内の時間が参りましたので只今から第2回丸亀市総合計画審議会を開会いたします。本日はご多忙の中ご出席いただきましてありがとうございます。それでは最初に企画財政部長よりご挨拶申し上げます。</p>
企画財政部長	<p>失礼いたします。本日は大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。今年もどうぞよろしくお願いたします。</p> <p>この丸亀市総合計画はまちづくりの指針となる計画です。これから皆様方の活発なご意見をいただけたらと思います。ここで、せっかくですので若干お時間をいただきまして、現在の丸亀市の状況等についてご紹介させていただきたいと思います。</p> <p>昨日から国でも通常国会が開催され、施政方針演説に続いて、これから平成23年度の予算審議がなされると思います。丸亀市でも同様に平成23年度の予算編成作業の最終段階を迎えており、平成23年度におきましても、保育所や小中学校の耐震補強・改築といった安全・安心にかかわるまちづくり事業や子育て支援に係る多くの事業が予定されております。</p> <p>また併せて、現政権による子ども手当の拡充など新しい事業がございます。それらについて、丸亀市においても当然行っていかなければならないということで作業を進めておりますが、何分、国の決定が遅いということで、丸亀市を含め各地方自治体とも財源の確保と情報不足に</p>

四苦八苦しているところでございます。

基本的に丸亀市では、「収入があって初めて色々な事業が実施できる」ということを念頭において現在予算編成作業を行っておりますのでご理解いただけたらと思います。

また本日、丸亀市議会からも委員として参加いただいておりますが、議会では昨年の12月に議会改革特別委員会が新たに設置されました。この特別委員会のなかで、議会の在り方とか議員提案による条例の立案などについて協議をしていくということで、既に活動のほうも進められておりますのでご紹介させていただきます。

丸亀市総合計画は平成19年に策定されましたが、策定当時と比べると丸亀市を取り巻く環境も大きく変わってきております。特にリーマンショックによる世界的な不況は丸亀市にも大きく影響しております。当時予定していた収入も相当減収になってくるのが想定されております。

また、本日資料を配布させていただいておりますが、昨年、国勢調査が行われました。この結果では香川県の人口は30年ぶりに100万人を下回ったということで、いよいよ人口の減少時代が顕著になってきたのではないかと考えております。幸いにも丸亀市は資料にもありますが、110,446人ということで僅かですが前回の調査を上回り一安心しているところであります。しかし、今まで計画していたような右肩上がりの人口増というのは全く期待できないということで、これからの計画については「この人口をいかに維持していくか」による定住施策について大いに考えていかなければならないと考えています。また、この人口がこれからの全ての計画の基礎になる数値であると考えていますので、今回、後期の基本計画の策定を行う上でも大きく方向転換しなければならぬ要素になるのではないかと心配しております。

そういうことで、各委員さんにおかれましては十分に色々な意見を出していただきまして、よりよい丸亀市のまちづくりにご協力いただければと考えております。

基本的には、市民、議会、行政が三位一体となって進めていかなければならないと考えていますので、忌憚のないご意見をお願いできればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

企画課長

それでは本日の会議資料について確認をお願いいたします。本日の資料は、
事前配布資料

【資料1】丸亀市総合計画策定に係るアンケート調査結果（追加資料）

【資料2】丸亀市の行政評価について

【資料3】平成22年度施策評価結果の概要

本日配布資料

総合計画策定の視点

丸亀市総合計画政策体系図（前期計画）

総合計画に関する意見シート

平成22年国勢調査（速報結果）

となっております。

また本日の会議でございますが、委員総数20名中18名の出席をいただいております。出席人数が半数を超えておりますので丸亀市附属機関設置条例第7条第2項の規定により会議は

	<p>成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>それともう一点、本日お願いしたいことがございます。四国職業能力開発大学校から大学の情報誌に掲載したいということで、本日の会議風景を撮影させてほしいという申し出がございました。この件に関しまして委員の皆様にご了解をいただきたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>・ 意義なし (四国職業能力開発大学校 撮影スタッフ入室)</p>
企画課長	<p>それでは只今から議事に入らせていただきたいと思います。ここからの議事進行につきましては丸亀市附属機関設置条例第7条第1項の規定により田中会長をお願いしたいと思いません。</p>
田中会長	<p>おはようございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。</p> <p>前回、事務局から色々な資料を提出していただきましたが、追加的な資料の要請もあり時間が空くのもどうかということと、前回は2名の委員の方が欠席されていたので、早めにもう一度ご意見を賜りたいということで事務局と相談して、1月下旬の本日、第2回目の審議会を開催いたしました。是非、活発なご意見をいただければと思っております。よろしくお願いたします。</p> <p>早速ですが、本日の議事は次第にありますように、</p> <p>(1) アンケートの追加検証結果について</p> <p>(2) 行政評価結果と政策体系について</p> <p>となっております。</p> <p>まず、議題(1)アンケートの追加検証結果について事務局より説明をお願いいたします。</p>
企画課村山	<p>〔 議題(1)アンケートの追加検証結果について、【資料1】に基づき説明 〕</p>
田中会長	<p>ありがとうございました。只今の事務局の説明に関しましてご質問等ございましたらお願いたします。</p>
金委員	<p>アンケートの総配布数や年齢別、男女別の配布数などはどのようにして決められたのでしょうか。</p>
企画課村山	<p>まず、総数の3,000票ですが、5年前の前回、総合計画を策定する際に行ったアンケート調査の総数が3,000票でした。それで、今回の調査結果において前回の調査結果との比較を行ってみたいというのがありまして、条件を同じにするということで総数は3,000票としております。</p> <p>また各年齢別の数ですが、昨年7月にアンケート調査の資料を作成するにあたって、直近</p>

	<p>の平成22年6月1日時点の住民基本台帳を基に、コミュニティ別・年齢別・性別に按分率を算出しまして、それを3,000票に掛け合わせて配布数を算出しております。</p>
金委員	<p>はい、わかりました。</p>
田中会長	<p>他に何かありませんか。</p>
臼杵委員	<p>2点ほどお聞きしたいと思います。</p> <p>1点目は、1ページの年齢別回収率については年齢を7区分にわけて集計していますが、2ページから4ページの現在の丸亀市については年齢を3区分にわけて集計しています。この考え方と意図を教えてくださいと思います。</p> <p>2点目は、4ページと5ページの定住意向の調査ですが、各項目の数値の合計が100%にならない場合があります。これについては問題ないのでしょうか。</p> <p>この2点について質問します。よろしくをお願いします。</p>
企画課村山	<p>まず1点目ですが、これは前回の審議会の中で各委員さんから「年齢別で配布数と回収率がどうなっているか」「年齢を3区分程度にわけて再度集計してみてもどうか」といった要望がございましたので、それに答える形で追加資料としてそれぞれ集計したものです。</p> <p>また2点目の質問ですが、これは少数点以下第2位の端数を四捨五入した関係で100%にならない場合もあります。ただ全体の傾向を分析する上では特段問題ないであろうと考えております。</p>
臼杵委員	<p>はい、わかりました。</p>
橘副会長	<p>本日配布していただいた資料「平成22年国勢調査」の中で、平成37年までの丸亀市の人口動向と見通しが数値として出ておりますが、先日、高松市長の話しを聞いておりましたら、高松市でも西暦2050年には30万人を割るといふ人口予測を立てています。そこで我々も、どのくらいの期間の人口予測に基づいて総合計画を作るべきかを考える必要があると思います。色々な投資をするにしても色々な事業を行うにしても、4年とか5年といった期間ではなくて定住人口の割合が高いということ踏まえ、その後の人口形勢等からある程度長期の人口から丸亀市全体を考える必要があるのではないのでしょうか。</p>
企画課副課長	<p>今、橘副会長がおっしゃった通り、今後の丸亀市の人口については非常に重要であると考えております。</p> <p>まず人口予測の期間についてですが、前期計画では平成17年度から平成37年度までの20年間の予測をしております。後期計画の策定においても、今回の国勢調査を基に同程度の期間での見直しが必要であると考えております。</p> <p>それと丸亀市の場合は、先程、企画財政部長から話しがあった通り、他市町の人口が減少している中で、僅かではありますが増加を続けておりますことから、基本計画の期間内のここ数</p>

	<p>年が非常に重要な期間であると考えておりますので、将来人口を次の基本計画の重要な位置づけにできればと考えております。</p>
橘副会長	<p>大企業だけでなく中小企業も市外に進出していくという形が多くなるという状況の中で、丸亀市の産業振興の位置づけをどのようにするかということが、人口の定住化に結びつく大きな要因だと思います。また、企業が新規事業をどのように起こし、丸亀市がいかにサポートしていかということも、丸亀市が目指している産業振興の中で特に重要な位置を占めるのではないのでしょうか。</p>
企画財政部長	<p>今、橘副会長が言われた通り、企業の育成が色々な面で人口の流出の歯止めになっていくと思います。まずは、国勢調査の人口でこれからの推移を確認しながら検討していかなければならないと思います。まさにこれが今回の総合計画の見直しの大きな位置づけと考えておりますので、この点においても色々のご意見をいただければと考えております。よろしくお願いたします。</p>
田中会長	<p>意見については後ほどお伺いしたいので、とりあえず資料1の質問についてお願いします。</p>
大倉委員	<p>アンケートで男性・女性別に集計していないのは、男女とも大体同じような意見になっていると考えてよいのでしょうか。</p>
企画課村山	<p>男女別の集計については現在行っていませんが、特別な理由があって行ってないわけではありません。男女別の集計を行うことは可能ですので、ご要望があればいくつかの設問について男女別に集計したものを次回の審議会で用意したいと思います。</p>
田中会長	<p>男女別の状況というのも確認しておく必要があろうかと思っておりますので、次回、事務局の方で何点かについて男女別の集計をした資料を提出いただければと思います。</p>
企画課村山	<p>わかりました。</p>
田中会長	<p>他に何かありませんか。</p>
内田委員	<p>2点ほど質問いたします。</p> <p>1点目は、2ページの「丸亀市の魅力だと感じる点」という設問で「行政サービスが充実している」と答えている意見がこれほど少なく、逆に3ページの「丸亀市の魅力が乏しいと感じる点」という設問で「行政サービスがよくない」と答えている意見がこれほど多いのかということです。この結果に対しての市役所側のご意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>2点目は、5ページの「丸亀市の定住意向」の設問で「市外に移転したい」という意見の回答についてです。居住期間が20年以上という人の中にも「市外に移転したい」と回答した方が4%ほど、また居住期間の年数の浅い方においては「市外に移転したい」と回答した方が1</p>

<p>企画財政部長</p>	<p>0%と、10人に1人は出て行きたいという結果になっています。これは、「具体的に何が不満なのか」「市役所に何か不満があるのか」ということについて市役所側のご意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>まず1点目の質問ですが、「丸亀市の魅力」に関するところでは、これが原因だからという形の質問内容にはしていませんので、具体的に「この部分が不満である」とか「この部分が満足である」というものは把握できませんが、各種取り組みに関する質問では、満足度の割合が示されており、これらをトータルした結果として、このような形になったと考えております。このような結果を踏まえ、これから総合計画の後期基本計画を策定していきますが、その前に対応できるものについてはできるだけ早く対応していかなければならないと考えています。</p> <p>それと2点目ですが、これも行政サービスに対する色々な不満等が考えられますので、委員の皆様にも色々とお知恵を拝借しながら考えていかなければならないと思っております。</p>
<p>田中会長</p>	<p>他に何かありませんか。</p>
<p>各委員</p>	<p>・意見なし</p>
<p>田中会長</p>	<p>それでは議題(1)については以上といたします。</p> <p>続いて、本日、追加で色々な資料配っていただいておりますので、議題(2)と併せて資料の説明を事務局にお願いしたいと思います。</p>
<p>企画課副部長</p>	<p>議題(2)行政評価結果と政策体系について、【資料2】【資料3】に基づき説明併せて、本日配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丸亀市総合計画政策体系図(前期計画) ・総合計画に関する意見シート ・総合計画策定の視点 <p>について説明</p>
<p>田中会長</p>	<p>只今の事務局の説明に関してご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
<p>早馬委員</p>	<p>最後に説明していただいた施策評価結果ですが、平成22年度に1次評価、2次評価、外部評価を行っているようですが、この外部評価について(「事業仕分け」の手法を用いて実施)となっていますが、これについて示していただくことは可能でしょうか。</p> <p>1次評価、2次評価というのは市役所内部での評価結果だと思います。平成20年度から丸亀市行政評価委員会(学識経験者4名、公募委員4名)による外部評価が行われているようですが、これについては、例えば市役所内部での評価ではA判定であったものがB判定に、B判定であったものがC判定になっているような、もう少し厳しい結果になっているものもあるのではないのでしょうか。</p>

<p>企画課副課長</p>	<p>平成22年度の外部評価につきましてはこれまでと少しやり方を変えまして、まず見直しが必要と思われる事業を先に抽出し、それを事業仕分けのような形で行いましたので、施策についての外部評価による意見はいただいております。平成21年度と平成20年度については意見をいただいておりますが、今、早馬委員が言われたように外部評価の方がやや厳しい結果となっています。この結果については公表しておりますのでお示しすることは可能ですし、平成22年度の外部評価についても10事業について行いましたが、その結果についてもお示しすることは可能です。ただ、個々の取り組みについて外部の方から意見をいただいたものですので、総合計画の基本計画を網羅したような評価にはなっていません。</p> <p>(審議会終了後、平成20年度～平成21年度の「丸亀市行政評価(外部評価)報告書」を各委員に1部ずつ配布)</p>
<p>林委員</p>	<p>今、説明していただいた施策目標のところは、国や県の都合でどうにもならない部分もたくさんあるのではないのでしょうか。その枠の中で私たちは、どこまで議論したり、話しをしたり、意見交換をしたりしていけばいいのでしょうか。例えば、ここまで意見を深めていっても、「国や県がルールを変えてしまえば何にもなくなってしまう」ということもあると思います。「この部分については丸亀市が国や県の都合に関係なく行っていける」というものがもしあるのであれば教えていただきたいと思います。</p>
<p>企画課副課長</p>	<p>今、特に地方の自立というのが求められていますので、それに沿った計画を作っていかなければならないというご意見だと思います。そこで今回の見直しについては、丸亀らしさといえますか、例えば、先程ご意見のありました定住化を進めていく上での重点施策など、何か強く進めていく施策というものを明確にしていきたいと考えています。それで、この審議会の委員の皆様にもご意見をいただきたいと思っていますし、また現在、各コミュニティに出向いて行って、そこでも総合計画の基本計画の見直しについてのご意見をいただいているところです。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>基本的には今掲げております5つの政策について自由なご意見をいただければと考えております。国が法律でこうしていかなければならないというもの以外は丸亀市の判断になるかどうかと思います。委員の皆様方にもそれぞれ得意分野があるかどうかと思いますので、そこで気になるところはどんだんご意見を出していただいたらと思います。</p>
<p>大倉委員</p>	<p>今回の見直しでは雇用問題が重要になってくると思います。アンケート結果において、「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」という意見が16～19歳で多いのは恐らく雇用関係の問題だと思います。また、現在の満足度という調査でも雇用対策が最下位となっております。現在の総合計画の中では雇用対策についてあまり強く謳われていないようですが、雇用対策はこの政策の柱のどこに位置づけられるのでしょうか。</p>
<p>企画課副課長</p>	<p>大倉委員のご指摘のとおり、現在の総合計画の中では雇用問題についてあまり強く謳われていません。産業振興と併せて強く打ち出す形にしていかなければならないと考えております。それで、現在の体系図においてどの部分に雇用問題が入ってくるかといいますと、上から2番</p>

	<p>目の「日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る」というところに今は位置づけられています。</p>
大倉委員	はい、わかりました。
田中会長	他に何かありませんか。
金委員	<p>アンケートを別の角度から再度集計していただいて、全体として年配の方の意見がかなり大きく影響しているということと、これで若い人の意見がみえてきたということで非常に参考になりました。例えば60歳未満の方で「丸亀市の魅力が乏しいと感じる点」という質問では、「趣味や娯楽の場が少ない」という意見が1位を占めており、これを次の後期基本計画でどのように組み込んでいけるかということを考えなければいけないということで非常に参考になりました。</p> <p>それと前期基本計画では、「若者にとって」という視点がどこにもないというのが正直な印象です。先程、雇用のお話もありましたが、若者がここで住もうと思えば雇用問題も重要ですし、楽しい魅力のある丸亀市ということがとても大事になるのではないかと印象を受けました。そういったことも、これから後期基本計画を考えていく上で非常に大事なことだということを感じました。</p> <p>また外国人と障がい者の部分がすごく少ないという印象も受けました。女性については「女性が行政に参画する」というのが指標にありますが、障がい者については「施設から外に出る」といったことしか指標にはありません。もっと障がい者の人も積極的に市政に参画するという視点があってもよかったのではないかと感じました。</p> <p>それで1つ質問ですが、この5本の政策の柱は変えることができないと思いますが、その次の政策目標とか施策目標はある程度変更できると考えてよいのでしょうか。</p>
企画課副課長	はい、変更できます。
金委員	それと施策目標のところの数値目標の指標ですが、これはどこで作るのでしょうか。
企画課副課長	これについては、まず市役所の所管部署で検討して、それから委員の皆様にご意見をお聞きしたいと思っておりますが、適切な指標の設定に苦慮する面もありますので、何かご提案等ございましたら是非お伺いしたいと思います。
金委員	指標自体についてもこの審議会で意見してもかまわないのでしょうか。
企画課副課長	はい、勿論、参考になるものがあれば是非お聞かせいただければと思います。
田中会長	指標の議論は次回の審議会で総合計画の体系のたたき台を示すということですから、ある程度それが固まってからでもよいのではないのでしょうか。

企画課副課長	<p>次の審議会では、総合計画の体系の骨格となるような部分だけをお示しすることになるのかと思います。それを市役所内でも議論していきまして、その後、個別の施策が出てきて、それから指標という形になっていきます。そのときには一度、皆様に色々ご意見をいただきたいと思います。</p>
金委員	<p>はい、わかりました。</p>
田中会長	<p>他に何かありませんか。</p>
岩田委員	<p>私もこのような会にたくさん参加させていただいて、「国が2年間だけだから」、「県が5年間だけだから」といったように、「国や県の事業が終了してしまうと丸亀市もできなくなる」というようなものをたくさん体験してきました。しかし、「国や県の事業が終了してしまっても丸亀市はやるぞ」というようなものを今回是非作っていただきたいと思います。</p> <p>それと、市の職員の方は異動があると思います。そこで私がこのような委員会に参加して特に感じたことは、市職員の方の「昨年までいなかったから」とか「私たちも2～3年すれば替わってしまうから」という意見が結構多いということです。行政内での連携が取れて、そして私たち市民が各地域で連携を取ってきて、そこで私たちと行政が手をつないでこそ、丸亀市の行政サービスがうまくいくのではないかと思います。ですから、もう少し市役所内での連携を図っていただくように市職員の意識改革を高めながら、後期基本計画の策定に取り組んでいただければ私たちも参加しやすくなると思います。</p> <p>それと資料3の施策評価結果ですが、私がとても驚いたのは評価結果が大変よいということです。これは、数値で結果を出しているからかなと個人的には思いました。例えば、子育て支援では支援施設が増えれば達成できているといったような結果となっています。しかしそうではなくて、そういったものが出来た上で、「それを利用されている方たちが満足できているかどうか」「本当に必要とされている方たちに行き届いているかどうか」というものが評価結果となるような方法を今後是非考えていただきたいと思います。</p>
奥村委員	<p>コミュニティ活動についてですが、会長によってコミュニティ活動は相当左右されると思います。この評価の中には入っていませんが、今、丸亀市のコミュニティセンターでは指定管理者制度を導入して活動を行っています。この評価結果を総合計画に取り入れていくことも大事だと思います。</p>
田中会長	<p>他に何かありませんか。</p>
岩崎委員	<p>私は自治会加入率が一番大事ではないかと思います。横のつながりがよくないと何を行うにしてもうまくいかないと思います。特に旧丸亀市において自治会加入率があまりよくないと思います。自治会加入率が高いところでは色々な面において協力し合うことができるのでコミュニティ活動もうまくいっていると思います。</p>

林委員	<p>先程から評価という言葉がよく出てきますが、評価というのは本当に難しいものだと思います。同じものに対する評価が人によって違う場合と、誰が見ても同じように評価できる場合があると思います。行政に望まれるのは多分後者の方だと思いますが、この評価軸といったものはあるのでしょうか。</p>
企画課副課長	<p>評価につきましては、今、林委員が言われたように、できるだけ誰が見ても同じような評価結果になるようなものを理想としております。そのために数値目標を設定しておりますが、これも指標の設定の仕方によって変わってきますし、年数が経過することによってその指標自体が全く使えなくなる場合もございます。ですから、そのあたりが私も非常に難しいと感じているところです。</p>
林委員	<p>私はそこで理念とかが大事になってくると思います。</p>
企画課副課長	<p>理念は、大きくは基本構想の部分でして、現在の丸亀市では「安全・安心のまちづくり」「協働のまちづくり」「一体的発展と融和」「行財政改革の実施」という4点を理念の上での大きな柱に据えています。</p>
北風委員	<p>私は、「丸亀市はどのようなまちを願っているのか」というものを提示していただければと思います。ここに総合計画策定の視点として、「市民の目線に立った計画作り」、「丸亀らしさを追求した計画づくり」、「前期計画を総括した計画づくり」、「実効性と連携を重視した計画づくり」と4点ほど掲げられていますが、例えば、1番目の「市民の目線に立った」というのはここに出席している私たちの意見を言えばいいのか、また2番目の「丸亀らしさを追求した」というのは私が思っている丸亀らしさでいいのだろうか」という疑問につながってくると思います。ですから、どういったことをしたいのか、はっきりと示していただければ、それに向かって市民みんなで協力して考えていきたいと思いますというようになるのではないのでしょうか。</p>
企画財政部長	<p>丸亀市総合計画は平成19年度に策定しまして、基本的に10年間はそのときに決められた基本構想に沿って丸亀市のまちづくりを進めていくことになっております。しかし、その間においても色々社会情勢等も変わってきております。そこで、今回、前期の基本計画を見直して、後期基本計画を策定することになりましたが、さらにその細かい部分については毎年見直していかなければならない部分も出てくると思います。</p> <p>この総合計画はまちづくりの指針となる全てを網羅した計画ということで、私は色々な意見があっただろうと思います。</p>
岩田委員	<p>それはここに出席されている委員さんは資料を読んでいるのでわかっていると思います。北風委員が聞いたかったのは、今日、ここに来られている丸亀市の事務局の方たちが思う「丸亀らしさとは何ですか」ということだと思います。それすら示していただけていないので、もう少し具体的に知りたいということだと思います。</p>

北風委員	その通りです。
企画財政部長	3月議会において、平成23年度の市の方針について市長が示されると思います。それによって色々な事業が進められていくわけですが、その基本となるのはこの基本構想の中にあります丸亀市の将来像です。我々としては、大きな目標である丸亀市の将来像はこういう構想であるということと言えますが、具体的にこれが大事だとか、この分野が一番重要であるといったようなことを、今この場で言うことはできません。
橋副会長	この後期基本計画の策定はどのようなスケジュールで行う予定となっていますか。
企画課副課長	3月下旬から4月上旬で第3回丸亀市総合計画審議会を開催したいと考えています。そのときに丸亀市総合計画の体系のたたき台をお示ししますので、色々ご意見をいただきたいと思っています。そして、最終的には今年の12月を目標に策定したいと考えています。したがって、それより1ヶ月くらい前にこの審議会の答申をいただきたいと考えております。
橋副会長	そうすると、ここに示されている細かいデータ等は平成21年度の実績がベースとなっていると思いますが、平成22年度の実績をどの時点で反映させていくかというのが問題になってくるとは思います。
企画課副課長	平成22年度の実績については、今年の6月～7月くらいに行政評価を行い、そこで一度総括することになります。ですから後期基本計画の策定と平行して行っていかなければならないということで非常に大きな作業量になると考えています。
田中会長	他に何かありませんか。
片山委員	<p>今、考えなければならないのは時代の変遷が極めて激しいということです。ですから、皆様方がご意見をしっかりとおっしゃっていただいて、また時代の動きをとらまえて、すばらしい次の5年間の計画を作っていかなければならないと思っています。</p> <p>例えば先程、大倉委員がおっしゃたように、今、若い人にとって雇用対策は大変重要な問題だと思いますが、前期基本計画ではそれほど重要視しているようには思えません。ですから、そういったものは今度の後期基本計画には取り入れていかなければならないと思います。</p> <p>今、議会でも、丸亀を元気にするためには、雇用の場・働く場が必要ということで、いわゆる産業の振興を図るための条例を提案することを検討しています。これも市内の色々な方々のご意見をお聞きしながら作っているところです。</p> <p>また、雇用対策とともに大きな問題となっているのは、人口が減少社会に入ったということです。今回の国勢調査では、香川県の人口が減っている中で、幸いにも丸亀市は僅かながら増加しているようですが、全体の大きな流れとしては減少で推移していくと思われます。そういった中で丸亀市は、「人口を増やすようなまちにするのか」、「人口は減っても構わないが市民みんなが納得するようなまちにするのか」というのを後期基本計画では検討していかなければな</p>

	<p>らないと思います。</p> <p>市民代表の皆様方もそのあたりのことを考えて色々ご意見していただければ、市当局も計画が立てやすくなると思います。</p> <p>今後、日本の人口が減っていく中で、市町村では人口が減らないまちと減っていくまちとに別れてくると思います。議会では、そういった中で、「丸亀市を人口が減らない元気なまちにしよう」ということで産業振興条例というものを考えているところです。参考までに申し上げておきます。</p>
田中会長	<p>ありがとうございました。他に何かありませんか。</p>
板倉委員	<p>今日いただきました総合計画に関する意見シートですが、これは政策の柱に沿って書くようになっていますが、これとは別に総合計画策定の視点という資料もいただいております。これについても書かせていただいてもよろしいでしょうか。</p>
企画課副課長	<p>はい、「策定の視点」については、今後もこれに沿った形で進めたいと考えていますが、このような視点からのご意見もいただければと思います。</p>
大倉委員	<p>総合計画に関する意見シートですが、私の友人に聞いて書いても大丈夫でしょうか。</p>
企画課副課長	<p>大倉委員の意見として入れていただくのであればかまいません。</p>
金委員	<p>総合計画に関する意見シートですが、いつ頃までに提出すればよろしいでしょうか。</p>
企画課副課長	<p>3月下旬くらいに第3回丸亀市総合計画審議会を開催したいと考えておりますので、できましたら2月17日までにお願ひしたいと考えております。</p>
田中会長	<p>他に何かありませんか。</p>
内田委員	<p>この施策評価結果のA、B、Cの判定結果について誰が責任を持つのかを考えた場合、「市役所なのか」、「市長なのか」、それとも「市民なのか」、というように考えなければならないと思います。野球のピッチャーでも調子が悪いと降板させられます。このCという判定をうけた施策の担当部長はいったいどういう総括をしているのでしょうか。</p> <p>また、先程、岩崎委員や奥田委員から建設的なご意見が出されましたが、市役所の一部の職員には、未だに「自治会というのは任意団体だから関知するところではありません」と言い切る者もいます。</p> <p>もう総合計画は、市役所はオブザーバーとしていてもらって、市民だけで話しをする時代が来たのだと思います。</p> <p>私が前回、「審議会は何回開きますか」と質問した際に、事務局は6回くらいと答えました。私は60回にしなさいと言いました。それくらい勉強して練り上げて、向こう5年間の計画を</p>

<p>田中会長</p>	<p>作っていかねばならないと思っています。</p> <p>明日をも知れない国会が始まっていますが、国や県で事業仕分けされれば事業ができなくなるとするのは本当に林委員のおっしゃった通りだと思います。その中で我々ができることは、総合計画策定委員から、政策の柱の5番目である「自治・自立のまち」を作るというスタイルに変えていかねばならないのかなということです。</p> <p>次回、総合計画の体系のたたき台が出てくるということですが、それにこだわりすぎずに我々が発言して、最後に、アンケート調査にもありました「市外に移転したい」という人をなくすように持って行きたいなと私は思っています。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>私も最後にひとこと申し上げておきます。これから事務局と我々がうまく、まさに協働でやっていければいいと思います。</p> <p>先程、「丸亀らしさとは何ですか」というお話しがありました。これは、「是非、事務局にもこのことについて考えてほしい」という意見であり、また我々もそのことについて事務局頼りではなく考えていかねばならないのだと思います。また、市民の目線に立ったということであれば、特に我々委員が色々なことを意見していかねばならないと思います。</p> <p>それから先程、施策評価結果で意見のありましたC評価については、事務局で是非どうするのか真剣に考えてほしいと思います。また、B評価についても、安心していいB評価とかなり心配なB評価があったように思います。これについても是非事務局で考えてほしいと思います。一方、我々の方は、仮に2次評価まででA評価になっていても、市民の見方からすると「この点についてはこのようにやっていくべきだ」ということがあれば、それも言っていければいいと思います。</p> <p>それから丸亀らしさという中では、国や県との関係もあまり気にせずに、大いに色々なアイデアを出していければいいのではないのでしょうか。そして、国や県の関係でどうしても限界がある場合には、事務局の方で判断してもらって、それから考えればいいことだと思います。</p> <p>いずれにしても協働でということですので、事務局にも頑張ってください、我々も大いに色々な意見を出していければと思います。</p> <p>それから気になる場所として、「市外に移転したい」という人をなくすというお話しがありましたが、「こういうことをやるべきではないか」「若者にとって何が必要か」など、是非、お仲間の方にも聞いていただくことをお願いできればと思います。</p> <p>それから、女性の視点、あるいは障がい者の視点といったところも重要ではないかと思しますので色々ご意見を出していただきたいと思います。是非よろしく願いいたします。</p> <p>それでは最後に、その他ということで事務局の方で何かありますか。</p>
<p>企画課副課長</p>	<p>先程、お願いいたしました総合計画に関する意見シートですが、2月17日を目途に提出していただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
<p>田中会長</p>	<p>それでは、他に何かご意見等ありませんか。</p>

林委員	<p>私は、前回の審議会の最後に、総合計画について周りの人に話してみると言いました。それで、100人くらいの人に話しましたが、その中で総合計画と聞いてわかった人は10人くらいで、その内の3人くらいは「何となく読んだことがある」という答えでした。そして100人の内の1人が「アンケート調査が来たので答えた」と言っていました。つまり、100人に聞いて90人は全く知りませんでした。</p> <p>私は、本当に汗をかいて自分たちが作った計画だったら、もっと多くの人に知ってもらいたいという気持ちがあってもいいのではないかと思います。</p>
企画課副課長	<p>後期基本計画が策定できた後の市民へのPRについては、十分に考えていきたいと思っています。</p>
田中会長	<p>他に何かありませんか。</p>
各委員	<p>・意見なし</p>
田中会長	<p>それでは以上をもちまして第2回丸亀市総合計画審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>